

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KIDS LAND Believe		職員5名 全員回収		公表日	2025年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	整理整頓に努めている。 物品の配置を適宜変えながら、お子様に合わせた環境整備を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員の配置は基準以上を継続している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	高いところに登る等を想定しケガに繋がらないよう整備している。	個室を設けてあることは良いが、音の抜けがある為、聴覚過敏のお子様には十分な環境であるとはいえない。 漏水が使えない為、手洗いを嫌がる姿が時々みられる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動しやすいようにその都度配置を考えている。 消毒・換気をおこなっている。 高いところに登る姿等を想定し、ケガに繋がらないように整備している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	クールダウンができる個室や、落ち着いて宿題をする個室をお子様と一緒に決めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		現時点でできているとはいえない為、改善に努めていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートを通してご意見を把握し、職員で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼やミーティングだけでなく、日々の業務の中で、気づいたこと、感じたことを話しやすいように関係性を築いている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		第三者委員会などの設置について、今後検討をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	感染症対策の研修を実施している。 虐待防止の研修を実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	丁寧に作成し適切に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	契約時だけでなく、日々の保護者との情報共有や、お子様のモニタリングを通して、適切に作成してある。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員間で目的や課題点だけでなく、お子様のやりたいことや、ニーズに合わせた視点での検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	適切に行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		現時点では充分できているとはいえない為、改善に努めていく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画書には丁寧に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	個別支援会議にて職員で共有しプログラム立案を考えている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	お子様の状況に合わせながら、職員でアイデアを出し合い活動を考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	お子様の状況に合わせながら、職員でアイデアを出し合い適切に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて前日の振り返りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	翌日の朝礼で行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援の記録・気づきは、毎日丁寧に次の支援に活かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的に行い、内容を踏まえ適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	サービス担当者会議を行い、保育園・幼稚園・こども園等と適切に情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	インクルージョン推進の観点からの支援を行っている。サービス担当者会議を行い、保育園・幼稚園・こども園等と適切に情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	就学先の小学校や特別支援学校と連携し、適切に情報共有を行い相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		今後検討をしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	市内の児童遊戯施設や地域の公園へ遊びに行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時での保護者との会話や、保護者と繋がっているアプリ機能を利用し、丁寧に情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		現時点では提供できていない為、今後検討が必要。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行いご理解を得ている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	送迎時での保護者との会話や、保護者と繋がっているアプリ機能を利用し、丁寧に情報共有を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	丁寧に説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	1	4	定期的、または保護者からの申し出に応じて、面談や助言など適切に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		現時点では提供できていない為、今後検討が必要。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	お子様や保護者からの相談、申し入れの際は、迅速丁寧かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページやSNSを活用し、活動の様子を公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	施錠し適切に保管している。 シュレッターを使用し適切に処理をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚支援や声の掛け方など配慮工夫をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	散歩や公園遊びなどでは、丁寧に挨拶を交わしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		適切に策定管理しているが、保護者への周知については今後改善をしていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	適切に計画策定、訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	てんかんの訓練を行い、いつでも対応できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	適切に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	普通救命講習等を受講し、安全管理に努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		現時点でできているとはいえない為、改善に努めていく必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	起きた事例を記録共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修の機会を設け適切な対応を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	個別支援会議にて決定し、保護者の方にも同意を得た上で、適切に対応している。		